

神戸みなと温泉 蓮、ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン誕生

昨年12月、ウォーターフロントの新たな施設として、新港第一突堤に誕生した「神戸みなと温泉 蓮」。地下1,150mから湧出し「神戸みなと温泉」と名付けられた源泉は、ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉で湯冷めしにくく、体の芯から温まる上に美肌効果と清涼感も楽しむことができます。宿泊棟は地上10階建てで、60㎡以上のゆったりとした客室の全てに、海が見渡せるテラスを完備。最上階には宿泊客専用の展望大浴場と展望バーが、1階～3階には日帰りでも利用できる屋内大浴場・露天大浴場、岩盤浴・溶岩浴、混浴温泉プール・屋内フィットネスプール・御食事処などがあります。



さらに突堤の先端には、立食形式で最大700人収容可能なバンケットホールや海に面したチャペルを備えた国際コンベンションホール棟「ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン」も。ウォーターフロントの新しいスポットとして注目を集めています。

Interview

今回は、「温泉利用型健康増進施設」として厚生労働省に認定申請中の「神戸みなと温泉 蓮」の健康増進部でシニア・アテンダントとして施設利用者の運動と健康管理をサポートする松野文哉さんに、同施設の特徴と魅力について伺いました。

温泉をベースに 専門スタッフが 健康づくりを支援

神戸みなと温泉 蓮
健康増進部シニア・アテンダント
松野 文哉さん



—「神戸みなと温泉 蓮」の特徴、セールスポイントは。

まずは、三宮という都会にありながら三方を海に囲まれたロケーションで、昼夜で表情を変える神戸の美しい景色を満喫できることですね。

そして、地下から湧き出る源泉かけ流しの天然温泉はもちろんのこと、アロマも楽しめる岩盤浴[※]や屋内外のプールとスタジオなど、さまざまな設備がそろっているので、何度訪れても飽きないという点です。

また、女性の利用者を意識した造りとなっており、パウダールームでは基礎化粧品をはじめとする各種アメニティーやヘアアイロン、拡大鏡を用意するなど、手ぶらで気軽に来ていただけるようにしています。

※石材や温度などが異なる計8種の岩盤浴・溶岩浴

—温泉利用型健康増進施設として、具体的にどのようなことをされていますか。

温泉療法専門医に温泉の利用と併せた健康増進プログラムを作成・監修してもらい、それを基に健康運動実践指導者や温泉利用指導者などの資格を持ったスタッフが指導し

ます。

例えば、病気で入院していた方には退院後、自宅でのように体調を管理し健康を維持していくか、食生活を指導したり日常生活で簡単にできるエクササイズを提案したり、ただ温泉に浸かるだけでなく日々の健康づくりにつながるサポートをしています。

厚生労働省の認定を受けた温泉利用型健康増進施設は現在、全国で19カ所（平成28年4月時点）しかありません。当館も今夏の認定に向けて準備を進めており、認定されると京阪神では唯一となります。

—利用者と接する上で心掛けていることは。

利用者は年配の方も多いため、施設に来ていただいたら最初にその日の体調を確認するとともに、心の面にも気を配るようにしています。「心技体」という言葉があるように、年配の方は特に心のケアが大切だと思いますので、何でも気軽に話してもらえよう、いつも笑顔で接することをスタッフ一同心掛けています。

—今後の展望とウォーターフロントへの思いについて。

屋外ヨガスタジオで新たなプログラムを企画したり、健康に関する悩みを聞く相談会を開いたりするなど、サービスを充実させていきたいですね。

また、温泉と運動と組み合わせ、一人一人に合ったオリジナルプログラムを作成する「パーソナルトレーニング」の利用者を増やし、よりきめ細やかなケアで利用者の健康づくりのお手伝いをしていけたらと思います。

若いスタッフが多く、元気あふれるエネルギーで、今後も神戸のウォーターフロントを盛り上げていきたいです。



松野 文哉さん

兵庫県高砂市出身。「神戸みなと温泉 蓮」の開業時から健康増進部でシニア・アテンダントとして施設利用者の健康づくりをサポートしている。健康運動指導士、温泉入浴指導員、キネシストレーナー、市民救命士取得。